

藍住町 議会だより

第124号

2026(令和8)年2月25日

藍住町議会
ホームページ

(アドレス)
<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



12月定例会	
令和7年度藍住町一般会計補正予算	……P 2
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	……P 4～8
中学生議会	……P10～11
議会のうごき・わたしの一言	……P12

藍住町議会夏休み絵画コンクール 表彰式

応募総数242点の中から選ばれました!

12月定例会

12月議会定例会が12月8日から24日までの17日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

～町長提案～

●令和7年度藍住町一般会計補正予算	可	決
●令和7年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算	可	決
●令和7年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算	可	決
●令和7年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算	可	決
●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可	決
●幼稚園の授業料に関する条例の一部改正	可	決
●藍住町町民栄誉賞授与の同意	嘉重	春樺氏
●令和7年度藍住町一般会計補正予算(第4号)	可	決
●令和7年度藍住町特別会計(国民健康保健事業)補正予算(第2号)	可	決
●令和7年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算(第2号)	可	決
●職員の給与に関する条例の一部改正	可	決
●藍住町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	決
●藍住町基本構想の策定	可	決

令和7年度一般会計補正予算

**歳入歳出
それぞれ** **2億3,700万円増額**

～主な補正の内容～

- 民生費
 - ◆後期高齢者医療広域連合負担金
..... 1,981万円
- 衛生費
 - ◆予防接種事業費..... 1,073万円

(1万円未満四捨五入)

**予算
総額** **150億5,800万円**

- 消防費
 - ◆災害物資集配拠点施設整備事業..... 1億円
- 教育費
 - ◆藍資料館整備事業費..... 1,802万円
 - ◆調理加工費..... 4,800万円

令和7年度一般会計補正予算(第4号)

**歳入歳出
それぞれ** **3,300万円増額**

～主な補正の内容～

- ◆一般管理費..... 556万円
- ◆戸籍住民基本台帳費..... 319万円

(1万円未満四捨五入)

**予算
総額** **150億9,100万円**

- ◆保育所総務費..... 307万円
- ◆社会教育総務費..... 1,127万円
- ◆図書館費..... 650万円

町議会議員補欠選挙

欠員となっていた藍住町議会議員の補欠選挙が去る11月9日に行われ、大西 孝志氏が当選されました。



大西 孝志氏

令和8年 第1回臨時会

1月7日開催の臨時会において次の議案が上程され、可決しました。

～町長提案～

● 令和7年度藍住町一般会計補正予算について…………… 可 決

藍住町議会夏休み絵画コンクール表彰式

12月23日、藍住町議会議事堂議場において藍住町議会夏休み絵画コンクールの表彰式を行いました。藍住町内在住の小中学生を対象としたこのコンクールは、昨年度に引き続き2度目の開催となり、今年度は「私の好きな藍住町」をテーマに作品を募集しました。

当日は、御応募いただいた242点の中から選ばれた最優秀賞、優秀賞、入賞の受賞者8名とその御家族が御出席され、議長より賞状と副賞を贈呈しました。

また、8名の受賞者から、「作品に込めた想い」を発表いただき、議員一同、子供たちの深い想いに感銘を受けました。



今年度の参加賞クリアファイル

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は5月に発行します。

詳しくは議会事務局まで

お問い合わせ ● 議会事務局 ☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政、議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時には、氏名を掲載させていただきます。
- ③字数は500字以内。
- ④掲載月を調整する場合があります。
- ⑤御意見の内容によっては、「町民の声」として取り扱わない場合もありますので、あらかじめ御了承ください。



栗島 和義 議員
くりしま かずよし



12月議会会議録

いじめ対策について

できる限り早期に相談につなげられる環境整備や、より効果的な学習や研修の実践を検討していきたい

問 全国的にいじめが深刻化しSNS等を通じた見えにくいいじめが増加している現状を踏まえ、本町の各小中学校における過去5年間のいじめの認知件数、相談件数および重大事態の件数についてその推移とともに内容や傾向の特徴は。

教育次長 いじめの認知件数は増加しており、相談に至る割合も年々高くなっている。この傾向はこれまでの学習や研修の成果と考えており、児童生徒や教員の意識が高まっていることが伺える。

【いじめの認知件数】

年度	件数
令和2年度	40
令和3年度	44
令和4年度	96
令和5年度	130
令和6年度	191

【いじめの相談件数】

年度	件数
令和2年度	17
令和3年度	33
令和4年度	43
令和5年度	56
令和6年度	100

【重大事態】

重大事態件数はなし

問 不登校となっている児童生徒についてその背景にいじめが関係しているかどうかをどのように把握・整理しているのか。

教育次長 学校からは、休みはじめの頃やその後の状況把握のときに本人や保護者から話を聞くことがあるが、特にいじめが原因だと推察されるような様子や発言がないため、長期休暇の原因をいじめであるとしていない。

問 いじめが深刻化する前の小さな兆候の段階で気づき迅速かつ適切に対応するため、各小中学校では現在どのような具体的な取組を実施しているのか。

教育次長 校内研修や職員会議などでは、いじめの問題についての共通理解、情報共有を図るとともに、保護者やPTA、関係機関との協議や連携を深めたい。

問 子供が自らの気持ちや匿名性の高い形で発信できる環境を整備するため「こころの体温計」をはじめ、自宅への持ち帰りが可能な1人1台タブレット端末を活用したICTによる様々ないじめ対策をより積極的に導入すべきではないか。

教育次長 今後、既に活用している他の自治体の状況を確認するとともに、費用対効果等を精査するなど導入について検討していきたい。

男性用トイレへのサンタリーボックス設置の推進について

利用者の利便性等を向上させる観点から、男性用トイレに設置することでより利用しやすい環境が整えられると考える

問 男性用トイレへのサンタリーボックスの設置は、社会参加を望む多くの町民にとって外出の安心を大きく高める効果がある一方、実際に必要とする人は声を上げにくいという現実がある。本町庁舎内においても男性用トイレに設置するべきでないか。

理事兼総務課長 必要性和許容性を総合的に勘案し、利用者の多い庁舎1階の男性用トイレにサンタリーボックスの設置を検討していきたい。

問 設置を行う場合、トイレ入口での案内表示が必要ではないか。

理事兼総務課長 多目的トイレをはじめ庁舎1階の男性用トイレの入口にサンタリーボックスの設置の表示について、設置と併せて検討していきたい。





もと き はるか 議員
元木 春香



12月議会会議録

町長選を終えてー 今後の情報発信と住民の方 との関係構築について

まちの未来を共に作り上げていきたい

問 選挙後に寄せられた「コミュニケーションのハードルを下げてほしい」といった声を踏まえ、今後4年間の情報発信や住民との関わり方について高橋町長の考えは。

町 長 広報あいずみや町公式ホームページ等を活用した広報や動画広報にも取り組んでいる。今後も町の取組をお伝えするだけでなく、町民に親しみやすい企画を考えて情報発信をしていく。住民との関わり方については、地区推進協議会の総会や高齢者施設のタウンミーティングに参加して御意見を頂いた。今後も機会を捉えて町民の皆様と対話していきたい。また町長への手紙を気軽に御利用いただきたい。

問 町長への手紙を多くの住民の方に周知してはどうか。

企画政策課長 専用便箋と封筒を役場庁舎や総合文化ホールと町の施設19箇所に設置している。設置場所については、町のホームページや、藍住町暮らしの便利帳などで御案内している。さらに広報等で制度の情報発信を行っている。

問 自主防災組織の結成促進などを通じたまちづくりについて本町では公助にあたる職員数が限られる中、自助・共助の底上げが不可欠になる。中でも医療的ケアが必要な世帯やハンディキャップのある方など、異なる不安を抱える世帯に対し、どのような構想で具体化していくのか。



町 長 今後より一層、災害に強いまちづくりの実現に向け、自主防災組織の結成促進の施策の柱として、3つの方向性「自主防災組織の結成支援強化」「機能する組織づくりへの支援」「福祉と防災をつなぐ支援体制の整備」で具体的な取組を推進していく。

住吉放課後児童クラブの移 転計画について

できる限り早期の実現を目指し、検討を進めていく

問 今後の開設時期は。

副 町 長 現時点では具体的な開設時期等を申し上げるに至っていない。

問 移転後、どのような施設の活用を検討しているのか。

副 町 長 住吉児童館と移設後の児童クラブとの連携、児童館職員の確保など検討すべき課題を整理して、当該児童クラブの移転計画と並行して検討する必要があると考えている。

危険箇所重点を置いた配 置型見守り体制について

子供たちが安全に通える環境を整えることは最も重要である

問 現在、巡視員の高齢化や保護者の就労により下校時の立哨当番への参加が困難な状況にある。特に北小学校から住吉児童クラブまでの通学路は危険箇所が多く、低学年の児童においては集団で下校することも多く児童同士のトラブルがエスカレートし、思わぬ危険が生じるおそれがある。パトカーによる巡回に加え、危険箇所に大人を配置する見守り体制と併せることで、より実情に応じた対応が可能と考えるが本町の考えは。

教 育 長 学童施設職員やシルバー人材センターの活用について困難であると考えている。そこで、応急的な対応ではあるが、巡視員が一定の時間、特に低学年の下校時間に合わせて危険箇所で見守りを行うことを検討していきたい。

その他の質問

- 行事開催と投票行動の関係を踏まえた投票率の向上策について
- 住吉放課後児童クラブまでの通学路の歩道環境の改善について
- 赤ちゃんごと家族のための説明書について



おがわ ゆきひろ 議員
小川 幸英



12月議会会議録

高齢者の交通手段について 慎重に検討する必要がある

問 町長は高齢化が進めばコミュニティバスの導入を検討しなければならぬ。現状では事業実施に見合うだけの需要が見込めないとのことであったが、高齢者の多くは望んでいたが今後検討する考えはないか。

企画政策課長 一度運行を始めると容易に廃止できないため、地域公共交通の在り方も含め、今後慎重に検討する必要があると考えている。

問 現在行っているタクシー券事業の補助額引き上げなどで移動支援を強化したいとのことだが、具体的にどうするのか。

企画政策課長 具体的には現在検討中となるが、1冊当たりの購入金額の引き下げや購入者数の上限の引き上げ等を検討している。

問 タクシー券を使う業者が1社では使う方が不便との声を聞く。板野町では3社使っているとのことだが増やしてはどうか。

企画政策課長 藍住町ノリ乗りタクシー券を利用することができ事業者は町内に3社ある。営業区域が定められており、乗車地又は降車地が営業区域内であればタクシーの運行ができるが、区域外から区域外への運行や、区域外での客待ちや流しの営業はできない等の規制がされている。

物価高騰対策について

問 年度内に事業が開始できるように努めていきたい

問 米や食料品、日用品が値上がりし家計を圧迫している。本町は年度末に向け町民に対してどう取り組んでいくか。

企画政策課長 重点支援地方交付金を拡充する旨の通知があり、本町が国から交付される金額が示された。現在、実施する事業内容等について検討を進めているところであり、年度内に事業が開始できるように努めていきたい。

認知症対策について

問 複数の介護予防事業や介護予防教室を行っている

問 過去5年間の認知症の人数と対策はどのようなか。

健康推進課長 第1号被保険者であって要支援、要介護認定を受けている方のうち、主治医意見書、認定調査票いずれにおいても、認知症高齢者の日常生活自立度がランクⅡ以上の方。(下表のとおり)



【認知症の人数】

令和3年度末	748人
令和4年度末	756人
令和5年度末	748人
令和6年度末	769人
令和7年度末 (10月末時点)	751人

認知症予防対策については、体力維持向上、栄養管理等を目的に複数の介護予防事業を展開しており、認知症予防を目的とした脳力アップ教室等を開催している。

問 軽度認知障害の気づきで認知症への悪化が防げる、薬が効きやすいなどがある。認知症初期集中支援チームがあるが、取組はどうなっているか。

健康推進課長 認知症が疑われる方やその御家族に対し、早期の段階から専門職が集中的に支援を行う。

問 過去3年間の認知症サポーター養成講座の人数と小中学生の人数は何人いるか。

健康推進課長 令和5年度19人、令和6年度24人、令和7年度11月現在0人であり、そのうち小中学生は各年度とも0人。

問 小中学校において認知症サポーターを増やす取組は。

健康推進課長 認知症に関するリーフレットの配布や、認知症に関するイベントの案内を掲示する。

問 認知症の方と家族、地域の方が安心して過ごせる場所作り、認知症カフェの取組は。

健康推進課長 人員の確保は難しく、直営での実施には至っていない。他の町内事業所等にも開設の協力を呼びかけていきたい。

その他の問

○資源ごみについて



議員 純一 新居



12月議会会議録

物価高について

限られた財源の中で、町民、事業者の効果的な事業の実施にこれからも努めていく

問 なぜ、高齢者等入所施設を運営する事業所だけに、定員または入所者数に5000円を乗じた額を支援し、他の業種事業所には支援しないのか。

企画政策課長 事業内容については、令和7年3月5日に議会全員協議会で御説明し、議会の了解を得て、実施したものと認識している。

問 介護報酬を不正受給したりニエルの関連施設リニエハイム藍住にも支給したのか。

企画政策課長 藍住町高齢者等入所施設物価高騰対策支援事業の対象施設であり支給している。

介護報酬の不正受給について

返還請求の時期については、年明けの1月中を予定している

問 町内の2つの事業所が介護報酬約80万円を不正に受給したが、本町はいくら過払いしたのか。返還請求を行ったのか。

健康推進課長 介護報酬の不正受給に対する返金は、現在本町分の返還金額を精査中であり、本日時点では返還請求を行っていない。

問 本町では、過去6年間で、今回を含め3回も不正受給が行われている。町が指定権者として監査、指導ができる施設にはどのような施設があるのか。

健康推進課長 地域密着型サービスのうち、グループホームと地域密着型特別養護老人ホームである。その他、町が指定している町内の地域密着型サービ事業所、居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所及び総合事業の事業所に対して指導等を行う。

問 どのような方法で監査、指導をしているのか。

健康推進課長 監査は不正請求や虐待が行われている可能性が高い場合や重大な運営基準違反が疑われる場合に実施する。指導については、事業所において注意していただきたい点を、サービスの種類ごとにまとめ、町が指定している事業所に対して周知をする集団指導と原則として対象の事業所に直接出向き、実地にて行う運営指導がある。

問 不正請求による過払い金には時効があるのか、これまで時効のケースはあったのか。

健康推進課長 介護保険法の規定により時効が2年と定められている。本町において、時効の成立

により部分的に返還請求ができなかったケースはあるが、全ての期間において時効が成立していたため、全く返還請求ができなかったというケースはない。

生活支援サポーターについて

サポーター数の拡充を図りつつ地区内の人材活用を基本としながら、依頼者に必要な支援が届くよう努めていきたい

問 これまでに何人育成したのか。

健康推進課長 計18人。

問 フレイルサポーターとの連携等を考えているのか。

健康推進課長 現時点では具体的な体制は構築されていないため、まずは登録者が少ない生活支援サポーターを増やすため、広報紙の活用やフレイルチェックの場などで生活支援サポーターの活動や養成講座について案内するなど、制度の周知を図っていきたいと考えている。

問 今後は何人育成していくのか。

健康推進課長 今年度についても、2月に養成講座を開催するので、広報紙、ホームページ等を活用し広く周知を図り、できるだけ多くの方に御参加いただきたいと考えている。

その他の問

○千問堀の排水対策について





はやし 林 議員



12月議会会議録

汚水処理事業の進捗状況について

藍住町汚水処理構想に基づき取組を進めている

問 公共下水道事業の財源内訳は。

上下水道課長

施設整備の費用を外部から調達する地方債、公共下水道を整備することによって利益を受ける方々に負担していただく受益者負担金、使用料に応じて負担していただく下水道使用料、一般会計が負担すべき経費や事業収入で賄いきれない部分を補填するための経費である繰入金、施設整備の際に活用できる国の補助金や交付金など。

問 毎年下水道事業の赤字は2億5000万円、赤字は解消できるのか。

上下水道課長

地方債や水道使用料、国の交付金などの財源の一部は一般会計の繰入金に頼っている。将来にわたり安定的に継続させるため、経営戦略を策定し経営の健全化に努めている。

町営住宅は入居者の命と安全を第一に考えること

生活を安全に維持するための補修などで対応している

問 町は入居できる住宅をそのまま放置するのでなく、入居者を募集すべきでないのか。

生活環境課長

新耐震基準で建設された一部の住宅については、現在空き住戸があるが、これらは中富団地の用途廃止に伴う住み替え先として確保しておく必要がある。また、災害時の緊急な一時入居先としての利用も考慮していることから、現在は一般の募集は行っていない。

問 住宅耐震化をしていない住宅入居者について安全性の確保が重要、住み替えを検討し、住み替えに伴う経済的な負担の軽減を行う。引っ越し費用の負担や家賃補助等、きめ細かい行政施策が必要でないか。

生活環境課長

引っ越しに必要な費用の一部を公的に支援する方法や移転によって家賃の負担が一時的に増加する場合に緩和する手法など、入居者に過度な負担が生じないよう配慮する方向で検討していく。また、安心して住み替えを行えるよう、他自治体における町営住宅再編時の支援制度を参考にしながら本町で可能な取組を検討していく。

会計年度任用職員の処遇改善

安心して働ける環境づくり、意欲を持って業務に従事していただくための重要な課題である

問 令和7年10月末時点での町の職員数、正規職員数と会計年度任用職員数、そのうちパートは。

理事兼総務課長

職員数は合計401人であり、正規職員が215人、会計年度任用職員が186人、そのうちパートタイム職員は139人。

問 会計年度任用職員の給与に関して総務省が、正規職員と同様に4月に遡及して改定するよう自治体に通達をした。町は、会計年度任用職員の給与を4月に遡及し改定したのか。

理事兼総務課長

現時点では遡及をしての改定は行っていない。主な理由としては、給与改定は翌年度からの適用と定めているため。

問 町は1年ごとの採用を繰り返しているため、いつ解雇されるのかと雇用不安を持っている。勤務実績を考慮し、選考し再度の任用も行うことが必要でないのか。

理事兼総務課長

全国の自治体での対応が様々である状況を注視しながら、制度の趣旨、公平性、事務負担などを総合的に勘案し、より効率的かつ公平な任用の在り方について今後の検討課題と考えている。



議員研修報告

板野町消防団第5分団(女性消防団)の研修に参加して

藍住町議会議員 元木 春香

消防団と聞くと「男性・消火」の印象がありますが、女性分団は備蓄倉庫の食品等の点検、親子向けの防災啓発、避難所運営を学ぶ「避難所HUG」など災害時の広報・支援を中心に担います。発足時は人材確保に苦戦したようですが、町の女性議員2名が地域の大学や子ども食堂を通じて呼びかけ、現在は20代の大学生を含む19名が所属しています。条例に基づく手当や年間計画も整い、行政の一部として機能し、地域の特性を生かした「女性ならではの防災」として注目されています。



が行政主導の受け身型になりやすく「行政が何とかしてくれる」という意識が残りがちだと繰り返し指摘されました。これまでの災害の教訓からも「公助」だけでは命は守れず、自助・共助の大切さが強調されており、今回の女性消防団の取組はその実践例です。藍住

町でも防災マルシエなど前向きな取組は進む一方で、公助を担う職員数の少なさは課題です。私たちの地域に合う形を作るだけでなく、重複や負担の大きい取組をやめる・減らす・組み替える選択も含め、関心のある皆さんや行政の方々と最適な形を考えていきたいです。

藍住町議会議員研修報告

11月19日、議会議事堂議場において、議員資質向上の調査特別委員会主催の議員研修会を開催しました。本研修会では、講師に一般財団法人地域公共人材開発機構の代表理事、新川達郎氏をお迎えし、「議会議員の法令順守の徹底と政治倫理の確立」と題した講演を行っていただきました。

講演では、近年その意味が多様に広がっているコンプライアンスについて、議会や議員に即したコンプライアンスとは、法律や条例等を守ること、会議規則やそれに基づくルールを守ること、住民代表機関・意思決定機関としての倫理を守ること、社会道徳や社会規範を守ること、政治家としての倫理を守ることであると再確認する機会となりました。また、デジタル化が進んだ情報社会への対応としては、議員は私的な発言であれ、あらゆる場面での行動に責任を持たざるを得ない社会になっていることを認識し、情報発信には最大限の注意を払い、対話と信頼醸成を目的に冷静かつ節度ある表現を心がけることが重要であるとのことでした。

今回の研修で学んだことをいかし、議員のコンプライアンスを確立して、透明度が高く、効果的・効率的に働く議会にしていきたいと考えています。



議会

藍住町議会議事堂議場において中学生議会が
む7名、藍住東中学校からは副議長を務めた
員として一般質問を行いました。

議長



藍住中学校
原 祐磨

町の中学生議会に参加して、普段はできない貴重な体験をすることができました。実際の議場を使って行ったので、とても緊張しました。議長として、会を進めていくのは難しいこともありましたが、このような大切な役目を任せていただいたことを、とても光栄に思っています。

政治は僕たちの生活のいろいろなところに関係しているのだと感じることができ勉強になりました。

この体験をこれからの生活にも活かし、社会のことに関心を持ち続けていきたいと思っています。

藍住中学校
武岡 愛真



答：教育次長

問 学校で行っている漢字検定や数学検定にも検定の補助をしてほしい。

答 学力向上、学習意欲のための取組について、漢字検定・数学検定の実施を含めたニーズ調査を行った上で、今後、検討していきたいと考えている。

藍住中学校
武林 康弘



答：副町長

問 藍住町の安全な道路状況や交通指導計画を教えてください。

答 道路幅が狭い町道や見通しの悪い交差点など、改善が困難な箇所にはカーブミラーやポストコーンなど交通安全施設の点検や整備を適切に進めている。日常的に自転車を利用される中学生を対象に、この12月に交通安全教室の開催を計画している。

藍住中学校
松本 奏一



答：理事兼総務課長

問 藍住町の防災計画を教えてください。

答 洪水ハザードマップを作成し、全戸配布するとともに町ホームページにも掲載し浸水想定区域、指定緊急避難場所を示している。道路側溝や排水路のしゅんせつ、維持管理を実施し排水機能の維持、向上に努めている。

藍住中学校
正治 睦隼



答：教育長

問 体育館を含む特別教室等のエアコン設置計画を教えてください。

答 特別教室などについては今後、必要性、緊急性等を考慮した上で設置について検討していく。体育館については、国の補助金等を活用しながら順次整備を進めている。

藍住中学校
白川 智輝



答：町長

問 武道館の改修・移築について教えてください。

答 施設の安全性の確保と利用者の皆様の利便性向上を目指し全面的な改修工事を実施する予定としている。令和9年末の利用再開を目指し安全でかつ快適な施設として事業を進めていく。

藍住中学校
鈴木 花



答：建設産業課長

問 町全体で取り組む正法寺川の清掃する日を作ってほしい。

答 アドプトプログラムに参加されている皆さんの御意見などを参考に徳島県と連携し、協議を重ねながら正法寺川の適切な管理に努めていきたいと考えている。

中学生

11月17日、若者の政治への関心を高めるため、開催されました。

藍住中学校からは議長を務めた原祐磨さんを含平田粹彩さんを含む7名が参加し、うち12名が質問及び答弁については次のとおりです。

藍住東中学校
ひらた さいさい
平田 粹彩



副議長

私は、今回の中学生議会では副議長を務めました。初めは、去年の先輩方のようにできるのか、という不安や緊張がありました。しかし、地元である藍住町が社会問題に対して様々な対策を行っていることや、私たちの要望を真摯に受け止め、改善しようとしてくれていた議員の方々の姿を見ることができたりと、国民一人一人に対する思いを理解できる貴重な経験をさせていただいたと思います。残り少ない生徒会活動ですが、今回の経験を生かして頑張っていこうと思います。

藍住東中学校
ふかわ はると
布川 陽翔



答：教育次長

問 給食などの残飯はどうなっているのか。また、藍住町ではフードロスについてどのような対策をしているのか。
答 残食は、全て燃えるごみとして処理されている。食育だよりに食品ロスに関する記事や残食を減らすための工夫などを掲載し普及を図っている。

藍住東中学校
にしむら くるみ
西村 心玖



答：生活環境課長

問 藍住町では今後どのように脱炭素社会を目指していくのか教えてほしい。
答 リサイクルの強化、食品ロス削減の取組などを一層推進し、ゼロカーボンシティーの実現につなげられるよう、地球に優しい持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えている。

藍住東中学校
こんどう しほ
近藤 志保



答：企画政策課長

問 現在、藍住町の人口のうち、外国の方はどれくらいいるのか。
答 令和7年9月末現在の人口は約2万3千人、外国人割合は約1.2%である。役場窓口において、翻訳機のポケット型や、多言語対応のポケット型を英語で記載したコミュニケーション支援ボードを活用している。

藍住東中学校
ごたんだ ゆずき
五反田 柚騎



答：理事兼総務課長

問 火事について藍住町で何か対策していることはあるか。また、火事によって大きな被害を受けた住居に居住している世帯に対して、災害見舞金を贈与しているか。
答 消防団による町内巡回など、啓発に努めている。また、著しい被害を受けた住居に居住している世帯に対して、災害見舞金を贈与している。

藍住東中学校
さいとう あゆみ
齊藤 愛優美



答：福祉課長

問 藍住町ではどのような子育て支援や出産援助をしているのか教えてほしい。
答 妊娠中や産後の母子の健康診査費用、不妊治療費等の一部を支援している。また、妊産婦、子育て世帯、子供に対する相談支援等を行っている。

藍住東中学校
きた きよみ
喜多 清心



答：社会教育課長

問 様々なスポーツができる総合運動施設を町内につくることは可能なのか。
答 大規模な総合施設の設置は財源及び用地確保の両面から、現時点では大変厳しい状況にあると認識している。しかし、現在、屋外スポーツ施設の設置を検討している。

